

2018年1月16日

報道関係各位

株式会社ビジョナリーホールディングス
JASDAQ・コード 9263

メガネ型ウェアラブル端末「b.g.(बीジー)」 「第4回ウェアラブル EXPO」で量産デザインを展示

～5種類のソリューション展示を協業パートナーと実施～

株式会社ビジョナリーホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：星崎尚彦、以下「ビジョナリーホールディングス」）の子会社である株式会社エンハンラボ（本社：東京都港区、代表取締役社長：座安剛史、以下「エンハンラボ」）は、2018年1月17日（水）～19日（金）に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催される展示会「第4回 ウェアラブル EXPO」（ブース位置：東京ビッグサイト 西ホール2階 W15-33）において、「視覚拡張」をキーコンセプトに開発を進めてきたメガネ型ウェアラブル端末「b.g.（ビージー）」の量産デザインとそのソリューションに関する展示を行います。

ブース展示では、デモンストレーションコーナーを協業パートナーと連携し、活用例に応じて5種類用意します。今回の展示内容は以下の通りです。

■医療向けソリューション～患者情報表示による医療の質向上への貢献～

協力企業：ティック株式会社（シップヘルスケアグループ）

「b.g.」の特長の一つである「ハンズフリー」。医療の世界では、手術など患者様の治療における清潔の概念に基づく手術野の活用例の展示です。バイタルサインや電子カルテ、DSA（デジタルシネアングロ）、エコー等医療現場で術中必要となる患者情報や医療画像を、「両眼視設計×ノンシースルー高解像度ディスプレイ」の見えやすさを通じて取得することで、医師及びコ・メディカルの負担軽減につながり、医療の質の向上への貢献が期待されるソリューションです。協力企業であるティック株式会社（本社：東京都北区、代表取締役社長：廣瀬稔祐）はシップヘルスケアグループの一員で、全国の医療機関を網羅しております。

■観光領域におけるインバウンド向け情報支援サービス

協力企業：凸版印刷株式会社、エヴィクサー株式会社

「b.g.」とエヴィクサー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：瀧川淳）が提供する音響通信によるデバイス制御ソリューション「Another Track®（アナザートラック）」との組合せにより、博物館等の展示物の前に立つだけで、見えないページや詳細な解説等の付加コンテンツがハンズフリーで閲覧可能になるソリューションの展示です。今回の展示では凸版印刷株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金子眞吾）の協力による北斎漫画の展示を外国人観光客向けに翻訳を表示する等、日本の伝統的コンテンツの再

活性化につながるサービスへの活用が期待されます。

■製造現場における「音声操作・入力」との連携医療向け

協力企業：IoTパートナーコミュニティ、ウイングアーク1st株式会社、M-SOLUTIONS株式会社、株式会社シムトップス

「音声操作・入力」との連携により、生産性の向上を目指したソリューションです。2017年5月よりエンハンラボは「IoTパートナーコミュニティ※」に参画しており、リーダーを務めるウェアラブル活用WGを通じて、ウイングアーク1st株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長CEO：内野弘幸）、M-SOLUTIONS株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：佐藤 光浩）、株式会社シムトップス（本社所在地：東京都目黒区、代表取締役社長：水野 貴司）と共に検討した内容です。必要なデータを音声で呼び出しリアルタイムで閲覧が可能になる、作業報告書の作成を音声入力で実施可能になる等、五感の活用により既存の業務プロセスを変革させることによって製造現場における生産性向上が期待されます。

※「IoTパートナーコミュニティ」とは、株式会社ウフル（所在地：東京都港区 代表取締役社長CEO：園田崇）IoTイノベーションセンターが事務局となり、2016年6月に発足した、協創を通じてIoTビジネスを推進するビジネスコミュニティです。参加する企業・団体等がベンダーフリーで相互に協創しながら、オープンイノベーションによるビジネスの創出を目的として活動しています。（参加企業数：44社 2017年12月時点）

■ドローン連携ソリューション～目視では困難な作業が実現可能に～

協力企業：株式会社日立ハイテクソリューションズ

危険が伴う各種調査・検査、設備点検などの現場において「b.g.」とドローンが連携することで、オペレーターの視点拡張を実現、オペレーターの視線移動の負担軽減による生産性の向上を図ります。今回はIoT × VR/AR（仮想現実/拡張現実）の産業向けソリューションを提供している株式会社日立ハイテクソリューションズ（所在地：東京都中央区 取締役社長：飯泉 孝、以下「日立ハイテクソリューションズ」）から無遅延（1ミリ秒以下）、非圧縮で伝送可能な映像伝送装置「AMIMON CONNEX」の提供を受け、操縦者がドローンを見る第一人称の視点と同時に、僅かな視線移動でドローンから映し出される映像を同時に確認できることを目指したソリューションです。

■高感度カメラ連携ソリューション～暗い箇所でも作業が可能に～

協力企業：インフィニテグラ株式会社

産業用カメラ技術の研究開発を専門とするインフィニテグラ株式会社（本社所在地：神奈川県横浜市、代表取締役：清水 喜弘）から高感度防滴カメラの提供を受け、b.g.との連動により、暗い場所でもハンズフリーで作業活動を実施することが可能となるソリューションの提案となります。工場やインフラ設備の整備などにおいて暗所認識能力が各段に向上するので、作業効率を上げることが可能となります。

今後の展開については、**Business to Business**（以下「**BtoB**」）各事業領域において先進的なプレイヤーとの実証実験を進めていきます。**b.g.**の活用方法は、アプリケーションや入力端末、ビジネスプロセスのあり方などの組み合わせにより、業界ごとに無限の可能性を秘めています。

今回のウェアラブルEXPOでは、具体的事例として5種類の展示を行いながらも、これにとどまらず、昨年までの事業活動を通じて既に強い導入意欲が見込まれている倉庫・物流センターなどの物流領域に加え、農業分野やその他（教育、エンタテインメント、畜産など）、あらゆる領域での実証実験を通じて、引き続き **BtoB** 領域におけるハンズフリーの実現を通じた生産性の向上を図るための方法を特定し、商品展開を図る業種・業態を拡大していく計画です。